

合同常任委員会

定例会4日目（12月15日）には、総務・文教厚生・経済建設の合同常任委員会を開催。中松牧野補償費問題に質疑が集中した。

窓口無料化で今後の子ども医療費は

〈太田議員〉

平成30年4月から窓口無料化を行う条例。予測は難しいと思うが、今までは医療費が膨らむということでもストッパーがかかっていた案件だ。それを変えるということは、何かしら根拠があるのか。

〈住民福祉課長〉

以前は一旦医療機関に支払い、その後償還だったので、中には申請漏れもあったようだ。受診しやすくなるということで重複受診も懸念されるが、今後どのくらい医療費が膨らむかは予測が立っていない。県内市町村で9割弱が現物給付化をしている。子育て支援を重点的にやっている上で、現物給付に踏み切った。



公施設指定管理料増額理由は

〈立石議員〉

白水地区公関連施設の指定管理料増額の説明を。

〈企画観光課長〉

指定管理者はくすい中間決算で、経営状態が思わしくなく、平成29年度末決算で3〜4千万円強の赤字が見込まれる。手持ち現金、会社による自助努力等も含めて、不足する3千万円を補正する。

空き家改修補助金の説明を

〈工藤議員〉

空き家改修補助金の内容と、空き家の改修をするまでの流れは。

〈企画観光課長〉

空き家改修補助金340万円を計上。移住定住取り組みの中で、借手が物件を見た段階で、一部改修によつて貸し借りしやすくなる条件を整えば、改修補助金として支出する。平成29年度は、14組が移住を果たしている。

改修の必要性については、不動産鑑定士が見積等の検討を行い、百万円を上限に改修費を支出。今年度の実績では5万円程度から百万円まで、改修の内容によって異なり、雨漏り、樋、瓦屋根、水周り、トイレ関係の改修が多くある。

経営体育成事業完了は

〈柝原議員〉

経営体育成事業は平成30年3月末で完了する必要があるが、諸事情により無理な場合は。

〈農政課長〉

経営体育成事業は、震災当初の平成28年度事業であったが、被災規模箇所ともに非常に大きいので、平成29年度も実施することとなった。事業自体は平成29年度で終わるが、事業の完了が非常に難しい状況が続いており、予算的に繰り越さなければならぬので緩和された。

買物弱者対策事業とは

〈桐原議員〉

復興支援費の買物弱者対策事業委託料の内容説明を。

〈企画観光課長〉

村内で食料品や日用品を販売する商店、事業者が減っており、買物者が不自由な村民も大変多い。また、東部地区の買物の拠点のスーパーが閉店し、買物事情がさらに悪化したことを受け、白川水源物産館（自然庵）に委託し、移動販売車等で買物支援を行う。

3セク統合準備状況は

〈今村竜喜議員〉

村内関係第3セクター統合の進捗状況は。

〈企画観光課長〉

統合促進に関する議会決議を受け、平成29年の6月から準備を進めている。統合推進会議を設け、3社の経営陣や主だった職員による会議を月1回開催。併せて実務担当の作業部会も立ち上げ、月1〜2回、推進会議と併せて開催。給与・人事・組織・会計面で調整を行っている。予定は、株くぎの株はくすい・株ちようようを吸収合併し、存続会社である株くぎの社名変更を行う。平成30年4月に新会社へ移行する。

